



年 組 名前

道新で
ワークシート

北見北斗高に設けられた使用済み詰め替えパックの回収ボックス

詰め替えパック
回収の輪広がる

市内の団体、花王から委託

北見の環境団体や市でつくる「北見エコスクールSDGs協議会」が日用品大手の花王（東京）からの委託事業として行っている、液体洗剤などの使用済み詰め替えパックをリサイクルする「リサイクルエーション事業」が市内で広がっている。開始から1年余りで回収枚数は約2万枚にのぼり、小学校や町内会での回収場所も25カ所となった。協議会の中島邦夫会長は「市民に浸透してきた」と手心えを話す。

（富樫晴香）

1年で2万枚 おもちゃに再生

リサイクルエーション事業は、プラスチックが原料の使用済み洗剤の詰め替えパックを裁断し洗浄、固めてペレット化し、おもちゃ

れることができる。協議会の前身団体であるエコスクール運営委員会が、2018年10月から市高栄地区の8カ所に回収ボックスを設置。その成果を受け、今年7月、全国で5都市目となる事業委託を受けた。

協議会は、委員が小学校の出前講座で講師を務めたり、11月に開催した「環境市民フォーラム」でプロジェクトを使ったフォトスペースを設けたりして、積極的に取り組みをPRしてきた。今年3月に出席講座をした東相内小では児童会が8月、校内に回収ボックスを置き、11月中旬までに350枚を集めた。北見北斗高や市役所北2条飯庁舎、まちなきた大通ビル・パラポ5階の環境課前にも回収ボックスがある。

花王の担当者は「北見の人たちは、とても熱心に取り組んでくれている」と話し、中島会長は「子どもたちに環境への活動を知ってもらいたいので、来年度は小中学校への設置を進めたい」と意気込んでいる。

2019年12月19日（木）朝刊 北見・オホーツク版 16面（記事・写真については二次利用の許諾を得ております）

- ①北見エコスクールSDGs協議会は何を回収してリサイクルしていますか。
- ②北見エコスクールSDGs協議会はリサイクルをして、何に再生していますか。
- ③このリサイクルエーション事業は、どのような点で環境に優しいのか、考えてみましょう。